



ささえあい

平成 22 年度 第 5 回
志布志市社会福祉大会を
開催します

志布志市社会福祉協議会 検索

平成 22 年 11 月 26 日発行

第 29 号

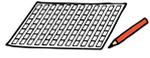
写真
コスモスロード
(有明町)

- ・ 第 5 回 志布志市福祉作文・絵画コンクール入賞者発表
- ・ 赤い羽根共同募金 街頭募金ありがとう。
- ・ 第 10 回共同募金チャリティゴルフ開催
- ・ おもちゃ病院開設で～す！！
- ・ ボランティアグループ紹介 ～松山町 尾野見グループ～
- ・ ようこそサロンへ ～原田サロン(有明町)～
- ・ 平成 22 年度 ボランティア育成講座開催
- ・ 手打ちそば作り体験しませんか？
- ・ 地区社協だより 帖五区地区社会福祉協議会(志布志町)・泰野地区社会福祉協議会(松山町)
- ・ まっ、よくいやんせ「大根について」
- ・ AED 設置案内
- ・ ふくし川柳募集！

ふくし川柳作品は、
各頁下部に
掲載しております。

第5回 志布志市福祉作文・絵画コンクール入賞者発表

(敬称略)

福祉作文 

小学生低学年の部 (1～3年)

 福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	泰野小学校	3年	山下日奈湖	おじいちゃんくれたたからもの
優秀賞 (2名)	尾野見小学校	2年	増田 海斗	大切ないのち
	伊崎田小学校	3年	中村 朱里	おじいちゃんおばあちゃん、大すき
佳作 (5名)	松山小学校	2年	西田 雄貴	ふくし
	尾野見小学校	3年	上ノ園瑠果	かんごしさんになるね
	八野小学校	3年	中 将兼	ぼくのばあちゃん
	通山小学校	1年	中西 響	もっともとながいきしてね
	通山小学校	3年	中山さくら	がんばっているおばあちゃん

区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	伊崎田小学校	2年	今村 和輝	おじいちゃんとかたつでトラップ
優秀賞 (2名)	伊崎田小学校	2年	宮脇 友佑	イチゴ畑でイチゴとり
	八野小学校	1年	山之内希望	おじいちゃん
佳作 (5名)	志布志小学校	1年	本田 愛己	だいすきなおばあちゃん
	香月小学校	2年	杉元 珠愛	スマイルじいちゃん
	通山小学校	2年	田中 律恵	おばあちゃんをかたみしているところ
	八野小学校	3年	富高 千尋	かたたたきのプレゼント
	泰野小学校	3年	山下日奈湖	大好きなじいちゃん

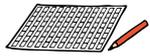
福祉作文 

小学生高学年の部 (4～6年)

 福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	伊崎田小学校	6年	青山 未来	私と手をつなごう
優秀賞 (2名)	野神小学校	6年	高松 璃奈	グループホームでのひととき
	香月小学校	5年	毛野 隼輔	本当のリハビリ
佳作 (5名)	松山小学校	6年	出水 芳樹	ばあちゃんの支えに
	泰野小学校	4年	假屋 麗	私の大切なおばあちゃん
	安楽小学校	4年	高瀬 大雅	じいちゃん
	伊崎田小学校	4年	津留 沙綾	おばあちゃんがんばれ
	有明小学校	6年	赤田 花鈴	そう祖母の病気

区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	安楽小学校	5年	上田 怜奈	住みやすい町に
優秀賞 (2名)	香月小学校	4年	山元 晶子	パソコンを打つおじいちゃん
	原田小学校	5年	福永 亮	大すきなおじいちゃん
佳作 (5名)	森山小学校	5年	川原 星南	お仕事おじいちゃんとおばあちゃん
	潤ヶ野小学校	5年	盛島 拓樹	長生きしてね
	尾野見小学校	4年	津曲 胡桃	私のじいちゃんばあちゃん
	香月小学校	6年	岩根ひなた	わたしのおばあちゃん
	通山小学校	6年	中別府 凜	祖母と妹

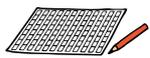
福祉作文 

中学生の部

 福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	宇都中学校	2年	郡山香奈江	職場体験
優秀賞 (2名)	宇都中学校	3年	上木 歩南	ありがとう
	志布志中学校	2年	若松 佳世	「バリアフリー」について
佳作 (5名)	松山中学校	2年	桐木香奈江	優しい未来
	松山中学校	3年	西口 弥生	私のばあちゃん
	志布志中学校	1年	今村 聖	福祉とわたし
	田之浦中学校	1年	千崎 彩佳	明るい福祉づくり
	有明中学校	3年	林 優也	進む高齢化社会

区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	松山中学校	3年	徳増 美月	助け合い
優秀賞 (2名)	松山中学校	3年	山口 汐莉	元気一杯の私のおばあちゃん
	宇都中学校	3年	上木 歩南	肩たたき
佳作 (5名)	志布志中学校	1年	谷口 盛哉	ぼくの大好きなおじいちゃん
	志布志中学校	1年	出水 太庸	おばあちゃん笑顔
	田之浦中学校	1年	千崎 彩佳	笑顔の花を咲かせよう
	有明中学校	2年	堀添 宇宙	明るい笑顔
	宇都中学校	3年	岩元千代美	うちのおばあちゃん

福祉作文 

学校賞

 福祉絵画

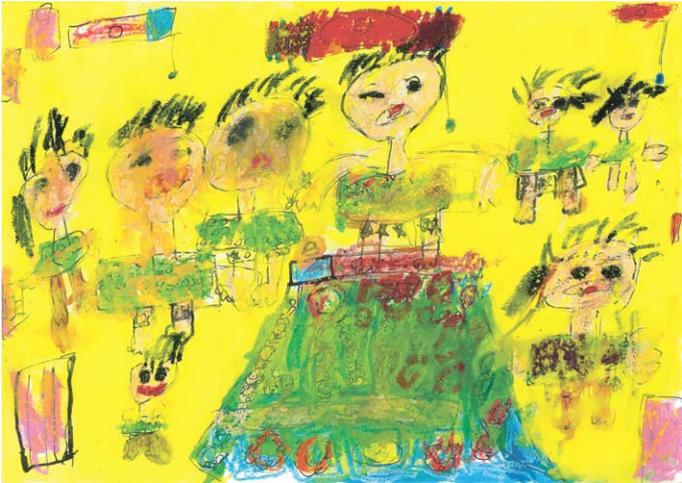
区分	学校名
小学校	伊崎田小学校
中学校	宇都中学校

区分	学校名
小学校	安楽小学校
中学校	宇都中学校



第5回 志布志市福祉絵画コンクール 最優秀賞作品紹介

最優秀賞 小学生低学年の部



「おじいちゃんとかたつでトランプ」

志布志市立 伊崎田小学校 2年 いまむら かずき 今村 和輝 さん

最優秀賞 小学生高学年の部



「住みやすい町に」

志布志市立 安楽小学校 5年 うえだ れいな 上田 怜奈 さん

最優秀賞 中学生の部



「助け合い」

志布志市立 松山中学校 3年 とくます みつき 徳増 美月 さん

第5回志布志市 福祉作文コンクール 最優秀賞作品紹介

最優秀賞 小学生低学年の部



志布志市立
野山小学校
3年
山下日奈湖さん



「おじいちゃんがくれた たからもの」

「日奈ちゃん、おじいちゃん
がんばるからね。ありがとう」
これが、わたしが聞いた、
おじいちゃんのさい後の言葉
でした。

おじいちゃんは、車を運転
して買い物やイチゴがり、公
園へ連れて行ってくれたり、
単人の家からわたしの家まで
何度も来たりしてくれました。
そのたびに写真もたくさん写
してくれました。だけど、一
緒にさん歩したり、公園の遊
具で遊んだり、おにごっこを
したりしたことはありません。

それは、国鉄の仕事をしてい
たときに汽車に両足をひかれ
て太ももから下の足がないか
らです。

おじいちゃんは、両足をな
くしてもできる仕事を習って、
仕事を続けたそうです。もし、
わたしが仕事で両足をなくし
たとしたら、とてもつらくてお
じいちゃんのような気持ちに
はなれなかったと思います。

おじいちゃんは、体をきた
えるために車イスにのったま
ま、ゲートボールをしたり、
アーチェリーをしたりしてス
ポーツもがんばっていました。
わたしは、小さいころゲート
ボールを見に行ったことがあ
ります。おじいちゃんは、元
気な人たちの中にまじって、
とても楽しそうにゲートボー
ルをしていました。ところが、
心ぞうの病気をしてから、
運動ができなくなっていました。

それからは、ぞうりやおり
づるを作ったり絵をかいり
するようになりました。そし
て、わたしだけではなく、た
くさんの人にプレゼントしま

した。わたしは、おじいちゃ
んから絵やぞうりをもらった
ときに、元気をいっしょにも
らえているような気がしまし
た。きつとプレゼントをもらっ
た人たちは、みんな同じ気持
ちだったと思います。

どんなことがあっても努力
していたおじいちゃん、いつ
もニコニコわらっていたおじ
いちゃん、わたしは、
「じいちゃんは、けがや病気を
していてもわたしたちにやさ
しくできるからすごいな。元
気でいてくれてうれしいな。」
と、思っていました。

そんなおじいちゃんが、今
年の五月になくなってしま
いました。アルプスの少女ハイ
ジの絵とお手紙、ビニールひ
ものぞうり、シュリケン、お
りづる、おじいちゃんがわた
しのためにのこしてくれたも
のです。そして、お手紙をわ
たすと、くるしそうな顔だっ
たけど、やさしくわらいなが
ら言ってくれた最後の言葉、
その絵全部がわたしのたから
ものになりました。

わたしも、つらいことがあつ

でもおじいちゃんからもらっ
たたくさんのたからものを思
い出して、がんばっていいこ
うと思います。そして、これか
ら、もっと人にやさしくしてい
たいと思います。

「おじいちゃん、今までありが
とう。」

最優秀賞 小学生高学年の部



志布志市立
伊崎小学校
6年
あおやま
青山未来さん



「私と手をつなごう」

私の親せきに、目の不自
由なおじいさんがいる。今年
の夏、祖父の家に親せきの
みんなが集まった時、おじ
いさんに会った。そこで、「未
来ちゃん、おじいさんを
トイレに連れて行って
くれないかな。」とおじい
さんに頼まれた。私は、「おじい

いよ。私と手をつなごう。」と、
トイレまで行くのを手伝った。
「もうちょっとこち。もう
ちょっと左。あっ、そこそこ。」
おじいさんは、まったく見え
ないので、ちょっとしただん
さにもつまずいた。ろうか
においてあるものにも足を引
っかけた。私は、おじいさん
が転ばないように、トイレま
で話を続けた。私がおじい
さんは、歩きにくそうだ。
私の手を左手でにぎり、右
手のかべをさわっている。私
は、家の中を連れて行くだけ
なのに、汗をびっしょりか
いた。目が見える人の何倍
もの時間がかかった。

おじいさんは、子どものころ
は目が見えたそう。病気を
して、とつぜん見えなくな
ったと教えてくれた。私が
おじいさんと同じように、と
つぜん目が見えなくなつた
ら、どうなるのだろうと思
った。行きたいところがあ
つても、一人では行けない。
食事をするのもどこにある
のか分からず、おわんを倒
してしまいうだ。食べるこ
とも難しく、食事を作るこ
とはできない。着がえだつ
て、色や裏表が分からない
のにちゃんとできる。私
は、たえられない。

家に帰り、二階の自分の部屋からトイレに行こうと思っただ。その時、おじさんと同じ体験をしてみることにした。タオルで目をおおってトイレに行くことにしたのだ。

自分の家だから、簡単に行動すると思っただ。でも、少しも簡単ではなかった。階段をふみはずすと転げ落ちて大げがをすると思うといつもスビードでは歩けない。足で床があるか確かめながらそろりそろりと歩いた。てすりをにぎる手は、がちがちに固まった。まだ階段があると思っ降りたら床だった。頭につんときて痛かった。階段が終わって部屋を横切るとき、トイレの方向が分からなくなつた。仕方がないので、かべをさわりながら歩いた。かべには、ラックなどが置いてありあちらこちらにぶつかってしまった。本当に大変だった。目が見えないこわさを知った。

私は、おじさんがいつまでも笑顔で過ごせる世の中だったらいいなと思う。私は、これからも、いつでもおじさんの手助けができるようにしたい。

「おじさん、また、手をつなごうね。」

最優秀賞 中学生の部



志布志市立
宇都中学校 2年
こおりやま かなえ
郡山香奈江さん



「職場体験」

私は職場体験で病院と老人ホームに行かせていただきました。私の職場体験での目標は老人の方と楽しく話せるようになる事でした。

私の行った病院には、デイケアセンターとリハビリステーションがあり、平日もた

くさんの老人の方々が来られていました。デイケアセンターに行つたとき、すでにデイケアセンターには、四人ほどの老人の方がいて、楽しそうに笑い声が聞こえていました。勇気をだしてあいさつをしたら、笑顔で輪の中へ入れてくれました。そのおかげで私の緊張はほぐれ楽しく会話をすることができました。

次の日は老人ホームへ行きましました。その老人ホームには八人ほどの老人の方がいて、職員の方は夜は一人、昼は三人ほどで介護をしていました。デイケアセンターで老人の方と楽しく会話することができたので次も大丈夫だろうと思っていました。しかし、今回は認知症の方がいて、話をして話がかみ合わなかつたり、突然泣き出したりと、想像とちがいとまどいしました。

でも老人の方は私に笑顔で話しかけてくれました。職員の方を見てみると、老人の方の耳の近くで大きな声で話していました。私も同じように話してみたら笑顔で聞いてくれました。私は老人の方と話すのが大好きになりました。

どの老人の方も優しく、笑顔が素敵な人たちでした。

しかし現在の社会では、老人の方の行方が分からなくなつたり、介護福祉士が足りなかつたりとたくさん問題があります。

私の母は訪問介護の仕事をしていました。時々母の腕には傷があります。「どうしたの。」と聞くと「つままれちゃった。」と言います。でもその後こう言います。「でもね、これだけの力があるんだ。ああ、今日も元気だつて安心するんだよ。」と。母は毎日楽しく話をしてくれました。

しかし介護福祉士の人たちはみんな母のような考え方はありません。たたかれたりつままれたりすることを苦痛に思つたり、重労働にたえられず介護福祉士を辞める人たちも少なくはないそうです。

また、最近では地域活動が減り老人の方との交流が少なくなつてきています。なので、地域活動を増やせば家にとじこもっている老人の方も、外に出る機会が増え、健康的にもいいし、いろいろな人と楽しく会話することが出来ます。

このような問題を早く解決して、老人と子供、その他の人々が助け合つて暮らしていけるような社会を作っていきたいです。

みんなも分かつてほしいと思います。老人の方も、一人はともさびしいこと、人と話すことが何よりも大好きなことを。それをみんなが理解してくれることが、老人の方が楽しく安心して暮らせる社会づくりの第一歩だと思います。

※作品はすべて原文のまま掲載しております。



第5回 志布志市社会福祉大会を開催します！

少子高齢化の急速な進行、三位一体改革、障害者自立支援法の見直し、また公的制度で対応困難な福祉ニーズが増大している中、地域住民が相互に助け合い、支え合い、連携していく意義がますます必要となっています。

そこで、社会福祉に関する市民の理解と関心をより一層高めるために、住民の主体的な参加の下、共生・協働による地域福祉の活動の発展を図るため、下記により社会福祉大会を開催いたします。

□とき

平成22年12月18日(土)
午前9時30分～午後12時20分

□ところ

コミュニティセンター志布志市文化会館

□内容

オープニング 有明中学校合唱部
表彰
・志布志市社会福祉協議会会長表彰
・第5回志布志市
福祉作文・絵画コンクール表彰
作文朗読(最優秀賞作品)
講演

演題「家族の絆」
講師 河野 義行氏

1994年に発生した松本サリン事件の被害者。事件後に警察やマスメディアから事件の有力な容疑者として報道被害を受ける。その一方でサリンの被害を受けた妻を支え続けた...

講演

演題 「家族の絆」
河野 義行氏



※先着 500名様に
花の苗をプレゼント!

第5回 **志布志市社会福祉大会**
住みやすい・やさしい・福祉のまちづくりをめざして
～志のまち志布志～

松本サリン事件の
第一通報者

河野 義行氏

平成22年
12月18日

(受付) 8時30分～
(会場) コミュニティセンター
志布志市文化会館

主な内容

- 9:30 オープニング
「合唱」
(志布志市立 有明中学校 合唱部)
- 10:00 表彰
・社協会長表彰
・福祉作文・絵画コンクール表彰
・8020 表彰
- 10:40 福祉作文朗読(最優秀賞作品)
- 11:10 講演「家族の絆」河野義行氏

主催：社会福祉法人 志布志市社会福祉協議会 共催：志布志市

後援：志布志市民生委員児童委員連絡協議会 / 志布志市母子寡婦福祉会 / 志布志市手をつなぐ育成会 / 志布志市地区社会福祉協議会 / 志布志市更生保護女性会 / 志布志市ボランティアセンター運営委員会 / 志布志市老人クラブ連合会 / 志布志市身体障害者連絡協議会 / 志布志市校区公民館連絡協議会 / 志布志市地域女性連絡協議会 / 志布志市教育委員会 / 志布志市 NPO 等連絡協議会 / 志布志市ひろの会

お問い合わせ 志布志市社会福祉協議会 ☎ 472-1800 / 473-0294

講師「河野義行氏」の紹介

プロフィール

■生年月日：1950年2月3日生
■出身・愛知県

■経歴等

1976年長野県松本市に転居。1994年6月「松本サリン事件」に遭遇。自宅付近からサリンが発生していることから、長野県警の自宅捜索を受け、マスコミからも容疑者扱いされる。身の潔白と名誉回復の為、1995年3月3日、日本弁護士連合会の人権擁護委員会に人権救済を申し立て、地元新聞社に対して民事訴訟を起こす。1995年3月20日、「地下鉄サリン事件」が発生。結果的に無実が証明され、長野県警本部、国家公安委員長、マスコミ各社が相次ぎ謝罪。現在は長野県公安委員(2005.7.12任期満了)、犯罪被害者支援のNPO リカバリー・サポートセンター理事、第二東京弁護士会市民会議委員。「報道改革」「犯罪被害者救済の立法化」などを訴え全国で講演活動をしている。

■講演について

サリンガスを吸った澄子が危険な状態に。救急車のサイレンが聞こえたとき、私も玄関まで出るのがやっとの状態になっていた。澄子は生死の境で必死の闘いを続け、私自身もサリン特有の幻覚や頭痛などの症状に悩まされていたときに、社会から殺人犯として扱われていたのだ。脅迫の手紙が「第一発見者社員」というだけ

の宛名でわが家に届き、「人殺し」「ここから出ていけ！」などという嫌がらせの電話や無言電話が十分と間を置かずにかかってくるようになった。そうしたなかで、私がうれしかったのは子どもたちがふつうどおり学校に通ってくれていたことだ。3人が通っているどの学校でも、一切いじめがなかったのだ。なぜいじめが起らなかったのか。実は、3人の学校の校長先生や担任の先生たちが、まだ何もはっきりしていないのだから3人にはいつもと同じように接するようにしよう、と話してくれたのである。私は、そのことに心から感謝をしている。3人にとって学校は、唯一といっいいい位気持ちの休まる場所になっていたようだ。家であれば、無言電話や嫌がらせの電話がかかってくる。マスコミの取材陣も黒山のように押しかけている。しかし、学校に行けば、気のおけない仲のいい友だちといつものようにいろいろな話ができるのだ。あのとき3人にとって、学校はとても居心地のいい場所だったに違いないと思う。物言わぬ澄子を真ん中に置いて、私と3人の子どもたちで一つの目的に向かって団結して闘った。あの事件はわが家の家族の絆を強くしてくれた。妻を溪流に連れて行ったとき、「あ」とたった一言、声を出した。その一言で、やれることは何でもやろうと大きな希望がわいてきた。妻は6回、危篤状態になり、医師は「この状態でもよくもっている」という。だが、彼女は眠り続けながらもする仕事がある。生き続けていること、それだけで私たちは信じられないほど大きな力をもらっている。「元気をくれてありがとう。」いつもそう語りかけている。

ボランティア、園児みんなで街頭募金をしました!

10月から12月まで全国的に展開される赤い羽根共同募金運動に伴い10月1日(金)、志布志市内の各店舗にて毎年恒例の街頭募金を行いました。

当日は、民生委員やボランティア、保育園・幼稚園の園児たちも一緒に店舗出入口に並び、街頭募金ご協力への呼びかけを行い、多くの方々から善意が寄せられました。皆さまの温かい善意は、敬老訪問の記念品や、ボランティア団体の活動事業費、地区社会福祉協議会の福祉活動費等、地域福祉向上のために幅広く活用されます。各店舗をはじめ、多数の参加と募金へのご協力ありがとうございました。

園児たちにとっても、「思いやりのところ」や「やさしいところ」を育む機会となってくれたらと願っております。



サンキュー西志布志にて

赤い羽根共同募金は「ボランティア団体の活動事業費」としても使われています。

四季彩館ほりぐち店にて



赤い羽根共同募金は「教職員ボランティア育成講座」の開催事業費としても使われています。

○ご協力いただいた幼稚園・保育園

- ・カトリック志布志幼稚園
- ・双葉保育園
- ・安楽保育園
- ・愛ゆみ幼稚園
- ・おおぞら保育園
- ・志布志幼稚園
- ・伊崎田保育園

○実施場所

- (志布志町/5店舗)
- ・タイヨー志布志店
- ・サンポート志布志アピア店
- ・ニシムタ志布志店
- ・エプロンロード店
- ・サンキュー西志布志店
- (有明町/3店舗)
- ・Aコープあおぞら店
- ・四季彩館ほりぐち志布志店
- ・ミネサキ有明店

■街頭募金額

(志布志町)	161,337円
(有明町)	55,914円
合計	217,251円

「第10回共同募金チャリティゴルフ大会」を開催しました!

晴天に恵まれた10月30日(土)、「第10回共同募金チャリティゴルフ大会」が大隅カントリークラブにて開催されました。

当日は、28組109名と多くの方々に参加をいただき、シヨートホールにてワンオンした時やワンオンしなかった時などに楽しみながら募金をされておられました。

皆様方の温かい善意に感謝申し上げます。大会結果は次の通りです。

○団体の部

- 優勝…志布志遠征会Aチーム (平均スコア72.1)
- 【メンバー】…谷 伸男、川野秀利、長野昭人、山中正品
- 準優勝…志布志遠征会Bチーム (平均スコア73.8)
- 【メンバー】…外岩戸哲夫、飯野正秋、柿元久志、西鍋教幸

○個人の部

- 優勝…山中 正品 (ネットスコア70.4)
- 準優勝…外岩戸哲夫 (ネットスコア70.6)
- 第3位…長野 昭人 (ネットスコア71.6)
- グロス 優勝…岩下 純一 (グロススコア79.0)

■チャリティ募金額

参加料	54,500円
チャリティホール募金等	108,871円
合計	163,371円



皆さん、楽しみながら募金をされておられました。



輪多市とは「多くのボランティアの輪を志布志市に広めよう」の意味です。

「いぶしおもちゃ病院とは」

子どもたちの大切な宝物（おもちゃ）の修理活動を通して「もの大切さ」を伝え、刻々変化するシニア世代の生き甲斐と社会参加の促進を図り、高齢者と地域住民、子どもたちと世代間交流、子育て支援や地域コミュニティを目指した新しい形のボランティアグループです。

全国的に活動している「日本おもちゃ病院協会」は平成12年組織化（本部・東京）現在650余名が活動しています。
県内、おもちゃ病院（鹿屋市・霧島市・鹿児島市）に次ぐ『いぶし

しおもちゃ病院』を開院しました。私たちは「かのやおもちゃ病院」にも所属し、難病の手術や治療を要する患者？？は連帯意識のもと、治療方法を学びあいながら地域間交流の場ともなっております。

◆開院日
毎月第2土曜日 午前9時～午前11時

◆ところ
志布志市健康ふれあいプラザ内
（志布志市社会福祉協議会）

◆お問合せ
いぶしおもちゃ病院（大山）
☎090-14487-17525
志布志市ボランティアセンター
☎099-472-1800

+ いぶしおもちゃ病院

こわれたおもちゃを持ってきて!!
おもちゃドクターが直します

おもちゃ病院の決まり

1. 修理代は無料です
2. 部品代など実費はいただきます
3. 修理の前に診断書（見積）を出します
4. 修理できないこともあります
5. 修理にかかる時間は約東でできませんが、原則次回開院日にお渡しします。



松山町の 尾野見グループ ふくれ菓子と チラシごはん...

9月15日(水)、松山町泰野にある婦人の家で、尾野見グループ内の9名が早朝より活動開始。

尾野見地区の見守り対象者となっており、高齢者（高齢者夫婦世帯・独居老人・障がい者など）の200名余りの方々に「ふくれ菓子とチラシごはん」を作り配布しました。

この活動は志布志市民から頂いた共同募金の配分金事業内の「ボランティア活動助成金事業」の助成金を活用して行われたものです。



「市民の方々の善意による共同募金を有意義に活用させて頂き、作るのは大変でしたが、高齢者の方々の笑顔を見ることが出来、疲れも吹き飛びました。」とボランティアの方々の声。忙しい間を縫っての活動ご苦労様でした。



シリーズ ようこそサロンへ！

原田校区のサロン(有明町)

このシリーズでは、志布志市内の「ふれあい・いきいきサロン」を市民編集員・有馬ケイ子さんの取材の元、紹介します。

今回は10月の集いに参加した「有明町の原田校区サロン」を紹介します。

原田小学校と道路を隔てた原田青少年会館で月1回開催されており、参加者は5名とボランティア2名で運営されている、こじんまりとしたサロンです。ボランティアの話では、「月の集まりを楽しみにしている、少なくとも話し相手がいるから来たい。ここに来ると話したり聞いたり出来て嬉しい。家ではひとりテレビが友達である。」と参加者からの声があると、頑張らなくちゃと元気が出てきます。

今日の参加者も顔見知りで月1回の集いをととても楽しみにしている様子でした。原田小学校の5・6年生との交流が計画されており、皆さん楽しみにしている様子が伺われ、温かい息づかいが聞こえるようでした。子供達が到着すると、拍手と笑顔での出迎えがあり子供達は楽器の演奏と「秋のうた」で応えてくれました。交流会は自己紹介から始まり、名前・集落名・そして祖父母等の名前など紹介され、参加者の歓談に華が咲き、子供達も嬉しそうに聞き入っていました。

保育園に通園していた頃の話や同じ原田小学校の卒業生であり先輩でもある話には子供達も目を丸くして食い入るように聞き入っていました。交流を深めるということで、オセロゲームが準備してあり、子供達も手際よくゲームを始めました。ゲームの流れや方法などは子供達が参加者に教えたり、参加者も安心して楽しんでいました。年の差を感じさせない真剣な戦いをしており、終わった時の顔は晴れ晴れとしていました。

地域の高齢者が元気でいきいきと毎日が過ごせるように、ボランティアの協力を得ながら体操・ゲーム等を楽しむなど語り合いを通じて適切な場を提供しています。詳しくは社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。



オセロゲームで対戦している様子

ボランティア育成講座

今年で5回目を数える育成講座が9月25日(土)から毎週土曜日に6回コースで行われ20名の参加者が集いました。

絵手紙を2回、木の実工作を2回。そして、心肺蘇生法とAEDの使用方法を学び、最終日は参加者同士でのグループワーク(意見交換)をしました。

長く感じた講座もアツという間に終わってしまい寂しさを感じましたが、この講座を受講することにより、ボランティア活動への関心や、自分の趣味探しのヒントが見つかったのではないのでしょうか。

絵手紙も、木の実工作(クラフト)も、普段何気なく目にする物の見方が今回参加された方々には新しい視点の発見となり感性が養われたようでした。



真剣な眼差しの受講生(絵手紙講座にて)

手打ちそば作りを体験 しませんか？

毎年恒例となっている「手打ちそば作り体験」を年末の12月22日(水)に志布志市老人福祉センター(松山町)で開催します。

この事業は、松山町に住む一人暮らしの高齢者の方へ元気に年を越して頂くとうと、ボランティアさん方の協力で手打ちそばを作り配布するボランティア活動です。

そば作りを覚えることが出来、ボランティア活動も一緒に出来る活動です。この機会にぜひ、参加してみてください。お待ちしております。

参加費無料！

- ・ 期日：12月22日(水)
- ・ 時間：午前8時30分～12時
- ・ 場所：志布志市老人福祉センター
- ・ 持物：三角巾、エプロン

問い合わせ先

志布志市社会福祉協議会松山支所
☎48712001



地区社協だより

小地域で福祉活動を展開する
地区社会福祉協議会を紹介します。



「一人暮らしと高齢者の集い」にて

みんなが参加してみんなで作る集いになっています。

帖五区地区

社会福祉協議会

(志布志町)

- ・人口総数 1, 559名
- ・65歳以上の人口 472名
- ・高齢化率 30.3%

(平成22年4月1日現在)

私たち帖五区地区社協は、大人から子どもまで参加できる活動を通して、生き生きと暮らせる地域づくりを目指しています。

「一人暮らしと高齢者の集い」

平成16年度から始めたこの集いは今年度で7回目の開催となります。区内の原則70歳以上の方を対象に講話や演芸、踊りなどを通して交流を深めております。踊りでは小学生や中学生、参加者も出演され、一緒に楽しみながら、昼食も手作り料理となっております。平成20年に公民館(農産加工研修センター)が拡張

されたのを機に、敬老会も併せて開催するようになりました。

「福祉ネットワーク(見守り)事業」

この事業は地域に住む一人暮らし高齢者や障がいを抱えている等見守りが必要な方へ声かけや安否確認を地域の方々が行い地域で支えていくものです。

平成20年に「帖五区近隣福祉ネットワーク推進会議」を立ち上げました。民生委員を中心に協力員や公民館関係者、自治会員で構成されるこの会議では、民生委員(班長)ごとに3グループに分かれ、要援護者の状況報告や新たに見守りが必要な方がいないかといったことを話し合います。会の最後にグループごとに話し合いの内容を発表し、意識の共有化を図っています。会議は、定期的に年3回(5月、9月、2月)開催しております。

「いきいきあそびサロン」

高齢者が生きがいを見出し、地域において孤独感の解消や心身の機能低下の防止を目的に安心した生活が送れるように、公民館や個人宅を利用し、語らいや体操、ゲームなどを通して交流を深めるものです。現在区内に自治会単位で3つのサロンが開設されております。世話役を中心に民生委員やボランティアの協力により自主的に行っております。これからも開設機運が高まるような環境づくりを心がけていきます。

(会長 外牧 武文)

泰野地区

社会福祉協議会

(松山町)

- ・人口総数 1, 313名
- ・65歳以上の人口 510名
- ・高齢化率 38.8%

(平成22年4月1日現在)

私達泰野地区社協の活動を紹介いたします。

「ひとり暮らし高齢者の集い」を実施

毎年行っています、ひとり暮らし高齢者の集いを今年9月5日に開催しました。

まず、映画鑑賞としまして、綾小路きみまろ爆笑ライブ、そして民謡クラブ、女性部、ボランティアアクラブの踊り、次に有明町の田淵先生のキーボード演奏でみんなでお歌おう昔の懐かしい歌、童謡など合唱したりして、楽しいひと時を過ごしていただきました。終わりに民生委員さん、ボランティアの方々による、手作りの昼食を食べて頂き、大変喜んでもらえて成果のあった集いでした。

「敬老祝賀会」を実施

敬老祝賀会を昨年はインフルエンザ流行のために開催出来ませんでした。今年9月20日に開催し、まず物故者に黙祷をして、次に来賓祝辞があり、そして泰野小学校児童2名に私のおじいちゃん、私のおばあちゃんの題で作文を朗読してもらい、大変感銘を受けました。また、みどり保育園の園児



ひとり暮らし高齢者の集いにて



におじいちゃん、おばあちゃん似顔絵を描いてもらい、展示しました。次に、祝宴余興では民謡クラブや婦人部による踊りがあり、会場の中でも一緒に踊る人も出て盛り上がり賑やかでした。最後に子供一連による踊りや三味線で華やかに締めてもらって、2年分の敬老祝賀会になったと、皆さんから喜んで頂いたところです。

(会長 本村 義夫)

まゆへんせいせ

今回の特集 『冬野菜・大根』

今回は、大根についてご紹介いたします。

1 大根を輪切りにします。

2 大根を冷凍庫に約6時間入れて、凍らせます。

3 2の大根を普通に煮込みます(約30分)。



たったこれだけで、味が染み込みやすい大根に変身。凍らせることで、大根の細胞壁にヒビが入り、普通よりも早くだし汁を染み込ませることが出来ます。調理時間も短くて、美味しい煮物を簡単に作る事が可能です。

このコーナーでは、生活に役立つ様々な情報を取り上げていきます。知りたい情報、質問等ありましたら、社協各支所までお問い合わせ下さい。

★ステキな大根ステーキ

1 大根をよく洗い、皮をむかずに1.5cm幅の輪切りにします。(食感を生かした皮付きで)

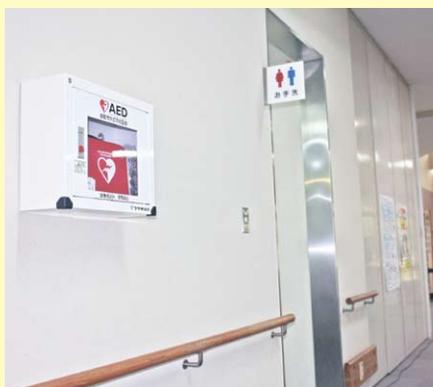
2 フライパンにごま油を熱し、強火で焼き色が付くまで両面をこんがり焼きます。

3 醤油大2、砂糖大1を加えて、中火で照りが出るまで味をからめたら、完成です！(七味唐辛子を加えてもおいしくですよ)



(AED)の設置案内

指定管理に伴い、当協議会が現在管理しています、4施設内にAED(自動体外式除細動器)が各1台ずつ、設置されました。



◇志布志本所(市健康ふれあいプラザ内)
※入浴棟側通路のトイレ横



設置されたAED



◇松山支所(市老人憩いの家内)
※憩いの家入口階段横



◇松山支所(市老人福祉センター内)
※正面玄関入口の横



◇有明支所(市市民センター内)
※正面玄関入口の横

皆様の善意に感謝いたします

香典返し寄附金

次の方々より香典返しのお礼にかえて市社会福祉協議会にご寄附を頂きました。

ここに謹んでお悔やみ申し上げ故人のご冥福をお祈り申し上げます。頂きましたご寄附は、志布志市の地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。

(平成22年9月1日から平成22年10月31日まで)

自治会名 寄附者名 物故者名 (敬称略)

志布志地区

野間久美子	故田中クニ
若松登代子	故修
嶋田安子	故廣儀
岡元厚子	故フタミ
宇都芳比古	故ハルコ
重村ミチ子	故幸治
藤山フルエ	故卯一郎
林 信宏	故雅子
追口 馨	故谷元スズ
丸尾紀子	故正一
小辻一海	故幸子
脇岡久美子	故麗子
高浜杉義	故幸夫
山下隆一	故敏子
徳永貞子	故飛松義忠
小谷安男	故江口トシ
池添シツ子	故兼幸
本村 勝	故ハルカ

有明地区

五反田まり子	故藥丸ヨウカ
木幡るみ	故田尾スズエ
山之口純博	故セツ子
水口ハツエ	故和雄
津邊 榮	故ナミ
山倉良昭	故ツル
久神ヨシ子	故昭洋
牧之瀬昭文	故季信

松山地区

佐々木則安	故重則
永田ミツエ	故一夫
野村シノブ	故泉
永田ミチ子	故幹枝

当社会福祉協議会の評議員として女性組織から選出されておりました、有明町の春田良子様のご逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

篤志寄附金

次の事業所・団体・個人の方々より市社会福祉協議会にご寄附を頂きました。

地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。ありがとうございます。

有明地区

匿名 30,000円 (敬称略)

物品寄附

(敬称略)

志布志地区

志布志町更生保護女性会 雑巾180枚
 ビューティシヨップ たかよし 高吉節子
 タオル多数
 柿元俊郎 乗馬マシン 1台

志布志町SL保存会 衆議院議員より感謝状

35年程前まで大隅半島を駆け抜けていたSL(C58112号機・蒸気機関車)を廃車後も鉄道公園にて現役当時そのままに保存されていることに對し、衆議院議員の前原誠司氏より団体へ感謝状が贈られました。

「志布志町SL保存会」は、昭和48年3月に志布志機関区職員にて志布志町蒸気機関車保存会を結成され、後世にそのままの姿を伝えてきました。

授与式では、今後は、「若い未経験者を養成し、昭和の文化遺産として保存していきたい」と言われていました。



ふくし川柳

募集します。

志布志市社会福祉協議会では、新コーナーとして、川柳を通じて、今以上に幅広い年齢層の市民に福祉を身近に感じてもらい、広く福祉に興味を持って頂きたく、募集致します。

つきましては、左記に募集要項と参考例として、広報委員の有馬ケイ子さんの川柳作品を掲載します。

○例 「急つかい やみ夜の風に のつくる」

○応募方法
 ・氏名又はペンネーム、町名を記入
 ・一人一作品まで
 ・ハガキ、郵送、FAX、Eメール

※電話による応募は致しません。

○応募締切

平成22年12月28日(火)まで

○掲載について

平成23年1月26日発行「ささえあい」第30号に掲載予定

志布志市社会福祉協議会
 (志布志市健康ふれあいプラザ内)
 〒899-7103
 志布志町志布志 3222-1
 TEL: 472-1800
 FAX: 472-1593
 E-mail: info@shibusshi-syakyo.jp

心配ごとがありましたら…

～金銭、年金、家族、住宅、ご近所トラブルなど～

12月・1月の日程

相談内容等の秘密は厳守します。ぜひ、お越し下さい。なお、相談料は頂きません。

12月					1月				
日	月	火	水	木	日	月	火	水	木
			1	2					1
5	6	7	8	9	2	3	4	5	6
12	13	14	15	16	9	10	11	12	13
19	20	21	22	23	16	17	18	19	20
26	27	28	29	30	23/30	24/31	25	26	27
				31				28	29

- : 志布志地区 472-1800 (健康ふれあいプラザ内)
- : 松山地区 487-2001 (老人福祉センター内)
- : 有明地区 474-0310 (市民センター内)

相談時間

10:00～15:00

※日程は変更になる場合があります。右記までお気軽にお問合せ下さい。